

国際ロータリー第2730地区

高鍋ロータリークラブ 会報



会長 福岡直樹
 副会長 坂田師通
 幹事 木浦亨英
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 例会場 ホテル泉屋 2F
 事務所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋 1368-4
 ホテル泉屋内 TEL/FAX 0983-21-1636

第2013回 平成30年3月15日プログラム

- | | |
|----------------------|------------|
| 1. 点 鐘 | 7. BOX披露 |
| 2. ロータリーソング
我らの生業 | 8. 委員会報告 |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 9. 会員卓話 |
| 4. 会長の時間 | 10. 次週例会案内 |
| 5. 幹事報告 | 11. 点 鐘 |
| 6. 出席報告 | 12. |

高鍋ロータリークラブテーマ『エンジョイ』

第2730地区ガバナー 押川 弘巳
 中部分区ガバナー補佐 久寿米木 和夫
 RI テーマ 『ロータリー：変化をもたらす』
 地区テーマ 『ロータリーを知り理解を深めよう』

3月の月間テーマ
 水と衛生月間

本日の例会案内

*会員卓話—多賀君、甲斐君、尾崎君

次週例会案内；3月22日（2014回）

*PETS 報告—坂田会長エレクト
 *会員卓話

3月29日（木）は特別休会です。

第2012回 例会内容 (3/8)

■会長の時間

会長 福岡 直樹君

ロータリーのモットー（標語） ロータリーには二つのモットー（標語）があります。第1モットーは「超我の奉仕」 “Service Above Self”。そして第2モットーが、アーサー・シェルドンの言葉で知られる「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」 “He Profits Most Who Serves Best” です。この二つのモットーの日本語訳については、昔から議論がありました。特に、第1モットーの「超我の奉仕」は「超我」が造語でもあり、カッコよい意味がよくわからない、と言われていました。日本のロータリーの創始者である米山梅吉は、これを「サービス第一、自己第二」とか「自己に先立つサービス」と訳しました。「超我の奉仕」より原義を伝えていきます。第2モットーも、「最善のサービスをすれば、結果として最大の利益が得られる」とでも訳したほうがわかりやすいでしょう。前掲のシェルドンの論文（『ロータリーの哲学』）ではこの二つのモットーは、一体化して提示され解説されていました。ロータリーの奉仕の哲学を端的に



表現している「決議23-34」の第1条でも二つのモットーがキーワードとして並んで示されています。二つのモットーを一つの主張として捉えると、ロータリー・モットーの真意は次のようになると考えられます。サービスを自己の利益や都合より優先させよう。利益はサービスの結果である。相手のために最善のサービスをすれば、結果として最大の金銭的な利益と、大きな精神的満足が得られる。ここで主張されている思想こそ、「ロータリーの奉仕の理念」の核心です。そして、注意しなければならないのは、これは決して利益を求めて奉仕するという「功利主義」的な思想ではなく、他者のために尽くすことが自らの幸せ（喜び）であるという、他者に奉仕すること自体を目的とする「利他主義」の思想だということです。利益はあくまで結果です。「奉仕の理念」は自分にとって何を意味するか？「目的」に示されたロータリーの目的は、次のように言い換えることができます。ロータリーの目的は、「奉仕の理念」を広め、その価値を高めてゆくこと。そして、ロータリアンとは、個人生活・職業生活・社会生活等、人生のすべての面で、「奉仕の理念」の研究と実践を行う人である、ということができます。「奉仕の理念」の意味を解説した前掲の『目標設定計画』（1931年）の中で、「奉仕の理念」は自分にとって何を意味するか？という問いが私たちに投げかけられています。職業奉仕も含めて「奉仕の理念」の解釈は意図的にロータリアン各自およびロータリアンのグループに任されている。その適用は広範で多様な状況、問題、可能性に対応して

実行されなければなりません。ロータリアン個人が「私の職業を通じて「奉仕の理念」を適用するとは自分にとって何を意味するのか? という問いに自ら答えることができなくてはなりません。

(引用文献:RI 第 2840 地区「ロータリーの基本」より)

<理事会報告>

1. 日本ボーイスカウト宮崎連盟への助成金の件 承認
2. 「特定非営利活動法人どんぐり 1000 年の森を作る会」へ協力の件 会長幹事で4口2,000円を寄付で承認

■幹事報告

幹事 木浦亨英君

<文書案内>

*ガバナー候補者(ガバナーノミニール・デジグネート)推薦のお願い



■米山奨学生奨学金授与&最終卓話 千 民宇君



■米山奨学生カウンセラー感謝状授与



藤本範行君



石田喜克君

■BOX披露

親睦活動委員 長濱 博君

<ニコニコ・財団・米山BOX>

【福岡直樹君】千 民宇君いよいよ最後ですね。寂しくなります。
 【木浦亨英君】千 民宇君一年間という短い間でしたが韓国語講座等ありがとうございました
 【藤本範行君】米山奨学生のチョンミス君は今日までです。長い間ありがとう！高鍋RCのことを忘れないでください。



■出席報告

出席委員長 甲斐英治君

出席報告 (3/8)

正会員総数	46名
出席会員数	31名
ホーム出席率	67.39%
修正出席率	78.26%

